

# 単元名 「世界の〇〇を調べよう」

氏名： 銅道 麻衣子                      学校名： 札幌市立元町北小学校  
 担当教科： 全教科                      実践教科： 総合的な学習  
 時間数： 20時間                      対象学年： 5年生                      人数： 40人

## 学習領域

	1	2	3	4	関連するSDGs
A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生		
Bグローバル社会	相互依存	情報化			
C地球的課題	人権	環境	平和	開発	
D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		

## 【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：		
日本とつながりのある国について紹介しよう		
【2】 単元の評価 規準例	(ア) 問題解決の能力	調べたい国の知りたい情報を集め、わかりやすくまとめることができる。
	(イ) 課題設定の能力	日本とつながりのある国について調べたいことを考えることができる。
	(ウ) 学び方・ものの考え方	国についての情報をもとに事実を正しくおさえ、日本とのつながりについて考えることができる。
	(エ) 主体的・創造的な学習態度	調べたい国について進んで調べ、まとめようとする。
【3】 単元設定の理由	<p>子どもたちの意識では、外国＝異国であり、文化や生活などすべてにおいて日本とは異なると認識している。そこで、外国にも日本と共通するところや似ている部分もあることに気づかせ、外国をより身近に感じさせたい。本単元では、日本とつながりのある国に意識を向けさせたい。そこでまず、児童には馴染みがあまりないけれど日本人が住んでみたい国11年連続人気ナンバーワンであるマレーシアを取り上げ、その国の様子を通して、日本での自分たちの生活とマレーシアでの様子との違い、共通点や日本とのつながりなどにも目を向けさせる。</p> <p>授業するうえでは、地域性や宗教性、民族の多様性などにも留意し、偏見をうまないよう気をつけながら授業する必要があると考える。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 児童/生徒観</li> <li>✓ 教材観</li> <li>✓ 指導観</li> </ul>		

【4】展開計画（全20時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「知っている国を出してみよう」 日本以外の国に関心をもつ	○ニュースや旅行した経験、学習したことなどを元に知っている国のことを挙げ、日本以外の国に関心をもつ。 ○日本人が住みたい国ランキングトップ3からマレーシアに目を向ける。 1. マレーシア（11年連続NO.1） 2. タイ 3. ハワイ ロングステイ財団 調査 より	
2 本時	「これ、なあんだ？」  「これは、どっち??」  マレーシアと日本との違いや似ているところを知る	○写真や実物が何なのかを考える。  ○カードに書かれた情報は「マレーシア」「日本」「マレーシア、日本 両方」のどれに当てはまるのかを考える。 ○日本とのつながりを知る。	・写真 ・動画 ・カード
3 ～ 11	「元北祭りにむけて、外国の遊びや国について調べよう」  「どんなコーナーを作るか考えよう」  「元北祭りの準備をしよう」	○お祭りに向けて、クイズや遊びなど展示に生かせるよう、日本や外国について調べる。  ○調べたことを元に、クラスでの展示について話し合う。  ○お祭りにむけて準備をする。	
12 ～ 15	「紹介したい国について調べよう」	○日本とのつながりを意識しながら、紹介したい国について図書資料やインターネットなどで調べる。	ワークシート
16 ～ 19	「紹介する国についてまとめよう」	○自分が調べたことを元に、新聞や掲示物などにまとめる。 新聞？模造紙？ポスター？ など ※発表方法（掲示、ワークショップなど）によって決める	新聞の台紙
20	「交流しよう」	○自分の調べた国についてわかりやすく発表する。 ○友達の発表を通して他の国についても知る。	

【5】本時の展開			
過程 時間	学習活動	支援や指導上の留意点	資料 (教材)
導入 (5分)	○「これ、ななんだ？」クイズをする 1. カカオの実 2. バナナの花 3. セパタクローのボール 4. 制服	・写真や実物を見せ、イメージさせる。 ・セパタクローについては現地の子どもプレーを動画で見せる。	・写真 ・実物 ・動画
展開 (30分)	○「マレーシア？日本？さあどっち??」 カードに書かれているものが、マレーシアに当てはまること、日本のこと、両方にあてはまることのどれかを考え、仲間分けする。 【マレーシア】 ・登下校は、おうちの人が送り迎え ・体育の授業は全て外で行う ・午前中で学校の授業が終わる ・1月2日から新年度が始まる ・トイレの壁に水が出るホースがある ・試験の結果で次の年のクラスが決まる 【日本】 ・学校は8時半に始まる ・義務教育は、小学校6年間中学校3年間 ・書道の授業がある ・昔から相撲がとられている ・季節は春、夏、秋、冬と四季がある ・冬に雪が降る地域がある 【マレーシア & 日本】 ・ファミリーマートで、おでんが売られている ・日本車がたくさん走っている ・北海道チーズタルトが売られている ・小学校で給食がある ・無印良品やKFCの店がある ・ドラえもんやナルト、ワンピースがテレビで放送されている。	・4人に1セットずつカードが当たるようにする。 ・机間支援の際、なぜそう判断したかなどの理由も尋ねる。 ・答え合わせの際は、追加情報なども伝える。 ・日本の文化や自分たちの生活も思い起こさせる。  ・カードの裏にはマレーシアの小学校、元北小、たい焼きケーキの写真を印刷する。  ・答え合わせはパワーポイントを使って行う。  ※時代や地域性、宗教によって多少異なる部分もあることを伝える。	・カード 10 セット
まとめ (10分)	○日本とつながりの多いマレーシア 答え合わせの共通点からマレーシアと日本とのつながりを知る ・日本の自動車会社との提携 ・パームオイルの使われている商品 ・「ルックイースト」	・社会の学習も思い起こさせる。 ・パームオイルの話から環境についてもふれる。 ・つながりがたくさんあることに気付かせる。	・写真

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）



実際にセパタクローのボールにも触れました



実物の制服には興味津々



カードわけでは、自分の経験も入れて相談していました

【6】本時の振り返り

実物を見せたり触らせたり、自分たちと年齢が同じくらいの子たちの動画を用いたりしたことで、児童はより興味をもって取り組んでいたように感じる。カードの内容は、児童の生活に身近なことや、経験の差に関係なく話せる内容になっていることで児童全員が話し合いに参加することができた。改善点については以下にもある通り、次時以降の調べ学習でも生かせるよう、児童に比較の視点やとらえ方などを身につけさせられるような写真を裏に用いると良かった。

児童は、「東南アジア」という響きから、日本に当たり前にあるものや施設などもほぼないと感じていたようだったが、この授業を通して児童自身の根拠のない思い込みを崩すことができた。それによって次々以降の調べ学習や活動では主観を通してではなく、事実や情報から物事をそのままとらえることができていた。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

〈児童の言葉より〉

- ・外国は日本とは違うことばかりだと思っていたけれど、似ているところもあってびっくりした。
- ・日本の技術が他の国でも役立っていることを知って驚いた。
- ・他の国についても、もっと知りたいと思った。
- ・調べた国に行ってみたいと思った。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】

外国に関するテレビを見て、以前は一番組でしかなかったのが、自分の調べた国だと身近に感じ、学級でも情報を共有していた。また、社会科など他教科においても宗教など自分や友達が調べたことも生かした意見が聞かれるようになった。マイナスのニュースの印象が強かった中、遠かった外国が身近になり、興味をもつ児童が増えた。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

（授業前）

イメージや思い込みからの印象ばかりで、

- ・日本とは異なることばかり
- ・東南アジア＝田舎 のイメージなので、マレーシアにはコンビニなんてない。

<p>・自分たちとの関係は薄い。 などの意識を大半の児童がもっていた。</p>
<p>(授業後)</p> <p>・もっと知りたい。実際に行って食べたり経験したりしてみたい。 ・自分たちの印象とは異なることがたくさんあった。 ・世界には知らないことがたくさんあってもっと知りたい。 ・つながりがないと思っていた国も日本と色々つながっていることが分かった。 ・文化の違いもおもしろい。</p> <p>など、違いに対しても類似点に対しても広く受け入れるようになった。また、変化などについては要因など深く知ろうとする児童が増えた。また、今まで意欲的に取り組むのが難しかった児童も、自分で国を進んで選んで調べていた。</p>

### 【8】自己評価

1. 苦労した点	<p>カードゲームの場合、個人に特化する利点もあるが、外国が身近ではない児童にとってはその国の生活を知るためには個人ではない方が良いと考えた。しかし限られた時間内での取材には限界があり、取材できる人も多数ではなかったため、地域的な部分では聞いた話を事実として教材化するのは難しかった。</p>
2. 改善点	<p>カードゲームの解答の方法。裏返したときに間違えたものは文字の面のままにして、どうしてその分類にしたのかを交流することで、児童の思考がより明確に見えた。</p> <p>「日本とのつながり」という点では、児童がより写真をよく見て共通点を探すなどの活動が入ると、次時からの調べ学習にもっと生かされたと思う。</p>
3. 成果が出た点	<p>似ている部分や、自分たちの知らなかった日本との文化交流や技術協力があることを知ったことで、児童は外国を身近に感じるようになった。また、総合的な学習に限らず、排他的な考えでなく歩み寄ろうとする立場でまず考えられるようになった。</p>

添付資料：

- ・写真
- ・制服
- ・セパタクローのボール、動画
- ・カード

参考資料：

- ・ロングステイ財団「ロングステイ希望国、地域」
- ・日清オイリオ
- ・出典 [www.ghaletreks.com](http://www.ghaletreks.com)
- ・<http://www.nisshin-oillio.com/goods/vegeoil/palm/index.html>
- ・ちびむすドリル 子ども用 世界地図
- ・ウィキペディア
- ・出典 [takrawperipheral.files.wordpress.com](http://takrawperipheral.files.wordpress.com)
- ・コトバンク
- ・阪急交通社 マレーシア基本情報
- ・Weblio
- ・きのとや <https://www.kinotoya.com/item/cheesetart.html>
- ・<http://autoc-one.jp/special/1373224/>
- ・<http://jsmcwm.or.jp/edit/kurashi/06/034minami.pdf>
- ・[http://palmoilguide.info/about\\_palm/detail](http://palmoilguide.info/about_palm/detail)
- ・<http://plantation-watch.org/abunaiabura/>





## “知っている国はどこですか？”

旅行したことがあるよ！

国の名前、聞いたことがあるな・・・

ニュースで見たことがある！

この前、勉強で出てきたよ！

輸入した国がスーパーで書いてあったよ

## ロングステイ希望国・地域 2016年 トップ3！

**第1位**

**マレーシア**

**第2位**

**タイ**

**第3位**

**ハワイ**

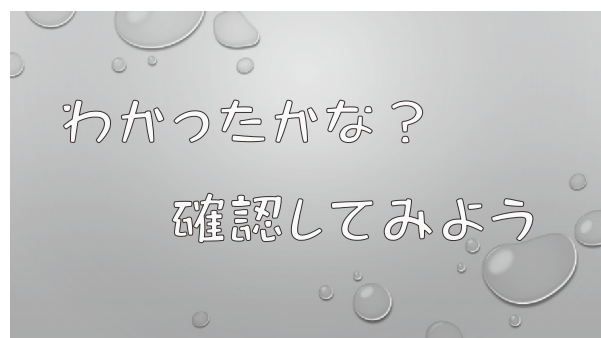
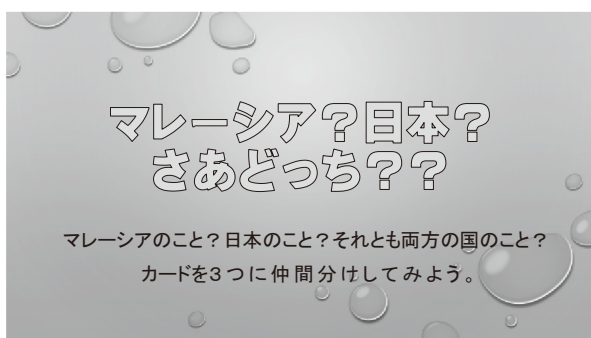
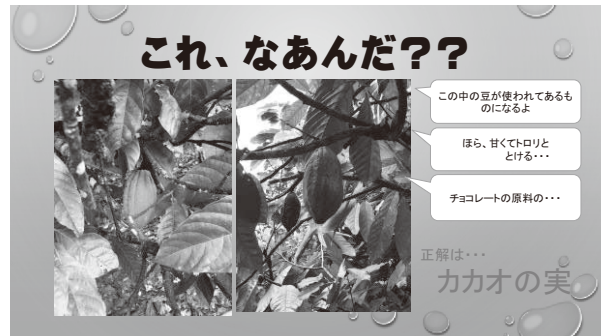
ロングステイ財団 調査より

### ちなみに・・・トップ10は

	1992	2000	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
1	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
2	カナダ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
3	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
4	アメリカ合衆国	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
5	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
6	スイス	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
7	イギリス	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
8	フランス	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
9	スペイン	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
10	アメリカ合衆国	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ

ロングステイ財団 調査より





①ファミリーマートでおでんが売られている

- ・日本 ではもちろん
- ・マレーシア

マレーシアでは  
トムヤムクン味も  
あるよ

②学校は8時半に始まる

- ・マレーシアでは・・・

JUMAAT											
JADUAL WAKTU PENGAJARAN DAN PEMBELAJARAN TAHUN 1 HINGGA TAHUN 6											
MELAK	7.30	8.30	9.30	10.30	11.30	12.30	1.30	2.30	3.30	4.30	5.30
TAMBAH	8.30	9.30	10.30	11.30	12.30	1.30	2.30	3.30	4.30	5.30	6.30
1	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA
2	PURBA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA
3	PURBA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA
4	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA
5	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA
6	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA	REPA

7時半に1時間目が  
スタートするよ

③トイレの壁に水の出るホースがある

- ・日本だとウォシュレットつきはあるけれど・・・

⑤小学校で給食がある

マレーシアでも給食はあるんだよ

⑥体育の授業は全て外で行う

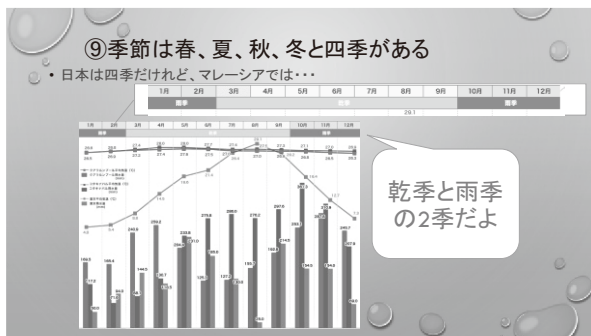
学校には体育館はなくて、講堂があるんだよ。

⑧登下校はおうちの人が送り迎え

登下校はおうちの人と一緒だよ

帰りは、おうちの人が学校前で待っているね





⑪午前中で学校の授業が終わる

- 日本では給食後に5、6時間目があるよね。マレーシアでは・・・

JUMAAT						
JADUAL WAKTU PENGAJARAN DAN PEMBELAJARAN TAHUN 1 HINGGA TAHUN 6						
RELEAS	7.00	8.00	8.30	9.00	9.30	10.00
TAMAM	8.00	8.30	9.00	9.30	10.00	10.30
1	ISLAMI					
2	PELUKA	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI
3	PELUKA	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI
4	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI
5	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI
6	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI	ISLAMI

11:20に授業は終わるよ。学校によっては、午後から始まることもあるよ。

放課後は、友達と外で遊んだり、習い事をしたり、勉強したり。  
日本と一緒にだね。

⑬試験の結果で次の年のクラスが決まる

- マレーシアでは・・・

年に2回(3月と10月)に試験があって、10月の試験の結果で1月からの学年のクラスが決められるんだよ。

小学校から、試験勉強をするんだって。



①ドラえもんやナルト、ワンピースがテレビで放送される。



お店にも、日本のアニメキャラクターグッズが売られているよ。

⑩義務教育は、小学校6年間、中学校3年間

•マレーシアの義務教育は、小学校6年間、セカンダリースクール(中学校+高校)5年間だよ。

## 実はマレーシアと日本はつながっている！

今まではよく知らなかったマレーシア、日本と似ているところもたくさんあったね。

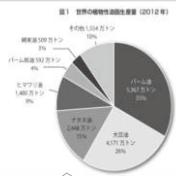
実は日本とマレーシア、つながりもたくさんあるんだよ。

## マレーシアの自動車メーカーは日本の会社と提携している



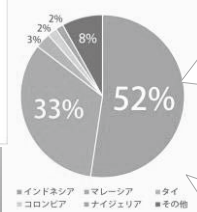
マレーシアの自動車メーカー「プロトン」は日本の「三菱(みつびし)」や「ダイハツ」と提携して自動車を生産しているんだよ

## 世界で1番生産されている油「パーム油」の生産国は



一番多く生産されている油は・・・  
実は、パーム油なんだよ。

## 国別パーム油生産量 (2014)



全体の85%がインドネシアとマレーシアで作られている

さらに日本の輸入元1位はマレーシア。

## パーム油って知ってる??





### このパーム油、みんなの身の回りに いっぱいあるって知ってた？

- スナック菓子やカップラーメン
- マーガリンやチョコレート
- 冷凍食品やアイスクリーム
- パンやフライドポテト
- 洗剤、せっけん、歯みがき粉
- 食品だけでなくサラシラップなど日用品も



### ルックイースト政策

・マレーシアの元首相マハティールが「日本に行って良いところを学び、マレーシアに戻ってきて学んだことを役立てるように」と行った政策。

留学生や会社員として

政府が補助

学んだことを自国に戻って役立てよう